

What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.30 May 2011

平成 23 年度総会・表彰式並びに第 1 回研究会を開催 5月 28 日 (土)

総会・表彰式

総会 14 時から、校友・父母会館 2 階会議室で開催し、63 名の方が出席しました。隅谷会長並びに石川機構長から挨拶の後、議事に移り、平成 22 年度事業報告・決算、平成 23 年度事業計画・予算、役員、会則及び表彰規程の一部改正の各議事について、審議の結果、異議なく承認されました。

会長に紀和隆氏就任 平成 23 年度会長には新たに紀和隆氏が就任しました。平成 21 年から 2 年間会長を務められた隅谷氏は、新たに設置した「相談役」に就任し、引き続き幅広い視点から本会の発展向上にお力添えをいただきます。また、副会長には北垣氏が新任されました。

◇会長 紀和 隆	株式会社紀和マシナリー 代表取締役会長	新任
◇名誉会長 寺内 俊太郎	大阪冶金興業株式会社 代表取締役	再任
◇相談役 隅谷 哲三	八田工業株式会社 代表取締役社長	新設
◇副会長 石川 正司	先端科学技術推進機構 機構長	再任
◇副会長 北垣 壽	大阪冶金興業株式会社 常務取締役	新任
◇副会長 田中 好孝	ウメトク株式会社 専務執行役員	再任
◇副会長 棚澤 肇	株式会社棚澤八光社 代表取締役社長	再任



紀和新会長

表彰 総会終了後、表彰式に移り、当会表彰規程により、平成 22 年度各賞受賞者に対して、隅谷会長から表彰が行われました（所属・資格は昨年度の表記）。

受賞者におかれましては、今後ますますのご活躍とご発展をお祈りいたします。

学の実化賞	課題：DLC 膜を滑り面に使用する工作機械用ハイブリッドガイド 関西大学システム理工学部 教授	北嶋 弘一
産学連携賞	課題：「スズ・銅・ニッケル系」鉛フリーはんだ「SN100C」 株式会社日本スペリア社 代表取締役社長	西村 哲郎
	関西大学化学生命工学部 教授	池田 勝彦
技術開発賞	課題：ワイヤカット機のフィルターの開発 八田工業株式会社 技術顧問	八木 勲
	課題：カーボンナノチューブと樹脂の高強度複合塗料膜「ナノテクト」 株式会社竹中製作所 取締役会長	竹中 弘忠
研究奨励賞	課題：誰もがスポーツに魅了されるコンテンツ制作事業 関西大学総合情報学部田中研究室（田中 成典教授） 和泉 純介 上野 友里恵 足立 佳哉 平松 祐樹	
	課題：Twitter と GIS を組み合わせたリアルタイム地域広告宣伝サービス 関西大学総合情報学部田中研究室（田中 成典教授） 中本 聖也 寺口 敏生 西江 将男 加藤 謙	
	課題：あいまい性を考慮した画像差分システムの研究 関西大学総合情報学部田中研究室（田中 成典教授）	安彦 智史
	課題：テニスのダブルスにおける戦術習得支援システムの研究開発 関西大学総合情報学部田中研究室（田中 成典教授）	和泉 純介
	課題：再生医療をサポートするペプチド材料 関西大学化学生命工学部生体物質化学研究室（平野 義明教授）	和田 全展
	課題：非凝集ナノ粒子の新規製造法 関西大学環境都市工学部ナノ粒子工学研究室（岡田 芳樹教授）	尾崎 博文 薫花 優棋
	課題：共同企画乗車券「のんびりおでかけん」の開発 関西大学環境都市工学部社会資本計画研究室（北詰 恵一准教授）	諸石 直樹 中井 康喜



隅谷会長 西村氏 池田教授



隅谷会長 八木氏



隅谷会長 竹中氏



北垣氏 紀和新会長



隅谷氏 紀和新会長

また、本会の活動に対し、学校法人関西大学を通じてご寄付を頂戴いたしました大阪冶金興業株式会社様（寺内氏 代理：北垣氏）と八田工業株式会社様（隅谷氏）に、紀和新会長より感謝状が贈られました。

第1回研究会

平成23年度総会・表彰式の終了後、60名の出席者を迎えて、「産学連携賞」、「技術開発賞」、「研究奨励賞」受賞者を講師にお迎えし、第1回研究会を開催しました。

演題：「スズ・銅・ニッケル系 鉛フリーはんだ「SN100C」」

講師：株式会社日本スペリア社 代表取締役社長 西村 哲郎氏

はんだはスズに鉛を加えた合金ですが、有害な鉛を含むために鉛フリーのはんだ合金が望まれています。同社ではスズに銅とニッケルを加えた鉛フリーはんだ「SN100C」を開発しました。SN100Cは、流動性、ぬれ性などのはんだ合金としての優れた性質を備えており、NASAの鉛フリーはんだの実験プロジェクトでも過酷な条件でも使用できる信頼性の高いはんだとして評価されています。SN100Cは家電製品やAV機器、パソコンなどの電子基板、ヒューズ、LED電球、トランジスター、トランスコイルなど様々な製品に使用されています。大阪府からは、「大阪ものづくり優良企業賞2010」最優秀企業賞を受賞いたしました。



西村氏

演題：「ワイヤカット機のフィルターの開発」

講師：八田工業株式会社 技術顧問 八木 熊氏

同社はワイヤカット機部門の生産性を向上させるために、様々な努力をしてきていましたが、さらなる低減のために副資材であるフィルターを新規に開発して長寿命化によるコスト低減を図ることにしました。標準品は紙フィルターですが、開発品は、1層のペーパーフィルターの内側に3層の金網フィルターを配置した4層構造としました。その結果、ペーパーフィルターは適宜交換、金網は清掃のみで対応し、半永久的の使用が可能となりました。ろ過性能は標準品と同程度です。現在、標準品の紙フィルターを11個使用していますので、1年間を通して約60万円のコスト低減が見込まれています。



八木氏

演題：「カーボンナノチューブと樹脂の高強度複合塗料膜「ナノテクト」」

講師：株式会社竹中製作所 取締役事業部長 黒山 昭治氏

カーボンナノチューブ(CNT)は、様々な用途が考えられますが、溶剤などに対する分散性が低いために、有用な複合材料の開発を妨げられてきました。当社は、CNTに独自のグラフト化技術を駆使して、有機樹脂中にCNTを粒子状に單一均一分散させた樹脂塗料膜「ナノテクト」を世界に先駆けて開発することに成功しました。ナノテクトは、画期的な力学特性を示し、高強度・高潤滑・高耐食性の特徴を兼ね備えています。ナノテクトは、当社の塗料開発技術、大学の表面グラフト技術を基に経済産業省(NEDO)の資金援助を得て開発された新材料です。



黒山氏

「研究奨励賞」を受賞した学生諸氏からは受賞業績のプレゼンテーションと本会への謝意が述べられ、活発な質疑応答の中、盛会のうちに終了いたしました。

アンケート集計結果

今年度も当会研究会について、会員の要望を把握し今後の研究会運営に反映するため、アンケートを実施いたします。

今回は31件の回答を得ました。その中で、研究会の内容については、半数以上の方々が「参考になった」「理解しやすかった」「長さも適當」との回答をいただきました。また、「技術分野」については、「医療・福祉」「機械・メカトロニクス」「素材・材料」に関心があること、さらに、「知りたい情報」については、「研究者の研究内容・専門分野」「実用化が期待される研究成果」との回答が多くありました。

これらの結果を、今後の研究会活動に反映するよう努めてまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

振興会のホームページ <http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/sinkokai/index.html>
関西大学HPからサイト内検索で「振興会」を入力して下さい

ASCIKU 関西大学科学技術振興会

Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University